



南の目指す生涯学習社会

～みんなが元気に みんなが幸せに～

令和2年度 学校・家庭・地域連携総合推進事業 県南地区放課後支援者研修会

南教育事務所が主管する「県南地区放課後支援者研修会」を11月10日、横手市浅舞公民館で開催しました。この研修会は「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ（学童保育）」に関わる方々を対象にした研修会で、今回、「新型コロナウイルス感染症対策」をテーマとして実施したところ、200名を超える関係者が参加しました。

講師に小児科医の吉村総一先生と大仙市子ども支援課の小野大輔主査を迎え、医師と行政の立場から情報提供していただきました。吉村医師からは新型コロナウイルス感染症対策について、最新のデータや詳細な資料を元に、湿度の管理や消毒など具体的なお話がありました。小野さんからは、放課後児童クラブに関わる方々のアンケートを元にした今後の対策と大仙市の取組事例を紹介していただきました。

参加者の感想には「湿度を60%に保つことが良いなど具体的な数値がとても参考になった。」、「今後の対策につなげられる情報が沢山あり、できる対策を進めていきたい」などの声が多く、充実した研修会だったことが伝わってきました。



寒さが厳しくなる季節を迎え、新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念される折、放課後子ども教室や放課後児童クラブでは、今回の研修を予防対策に生かしてもらえることを期待しております。



【熱心に聞き入る参加者】

【事例を分かりやすく紹介していただきました】

アドバイザーコラム：学校・家庭・地域の連携・協働 10

気付きを与える「よそ者の眼」

社会教育アドバイザー 小笠原 重夫

「小さくてもきらりと光る村」や「子育てと教育に力を入れる村」を標榜する東成瀬村に、また一つきらりと光るものを見付けました。

それは、同村の地域おこし協力隊の皆さんが作っているYouTubeチャンネル「KANAME〜要〜」です。地域おこし協力隊がSNSで発信する例は、全国に数多くあると思います。でも、その多くは「いい所だから来てくださいね。できれば住んでくださいね・・・。」と、田舎の魅力を都会の人たちに向かって発信するものかもしれません。

しかし、KANAMEはそうではありません。KANAMEからは、都会の人たちに向かって・・・というよりは、むしろ東成瀬村に今住んでいる人たちにこそ同村の素晴らしさや魅力を見てもらいたい、再認識してもらいたいとの思いを強く感じます。

ですから、視聴数やチャンネル登録数などは、それほど問題にしていらないように見えます。

地元の人のにとっては、あまりにも当たり前過ぎて特別珍しくはないけれど、外から来た人を見ると素晴らしい魅力にあふれている・・・。KANAMEは、観光パンフレットには書かれているものとは違う自慢や魅力も地域にはあるという新たな「気付き」を住民に与えてくれます。

そして、KANAMEがそうした気付きを与える材料にしているのが「人」です。人の生き方の本質は、自然の中にあり、特に農山村での暮らしは自然と密接なつながりがあるということを、肌で理解させようとしています。

地域を盛り上げるには、地域の人たちの地元に対する熱い思いが欠かせませんが、もう一つ大切なのは、その土地に対する先入観や固定観念のない、つまり新たな「気付き」を地元にもたらす「よそ者の眼」だということも、KANAMEは教えてくれます。皆様も一度KANAMEをじっくりご覧ください。